

第74期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



2020年度の成長をベースに、“つなぐビジネス”を拡大します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。

2020年度は新型コロナウイルス感染症により様々な活動の制限を受けた一年となりましたが、社員を始め関係する皆様の努力もあり業績としては受注・売上ともにこれまでの最高となりました。特に下期より一般産業機器市場向け・自動車市場向けが回復し、スマートフォン・コンシューマ市場向けと合わせ主要3分野で年初の想定を上回る結果をいただきました。新型コロナウイルス感染症による行動制限から、従来の対面型の営業活動が難しくなり、ITツールを活用するなど、新たな企業活動を模索した一年でした。新しい取り組みを進める一方、研究開発や設備投資は例年よりも減少しており、本来の活動に対しては不十分と思っております。さらに、このような中でもマクロ環境としては変化のスピードがより早くなり、競争環境も厳しさを増している認識です。2020年度の成長をベースに、将来に向けての施策の強化をより一層進めてまいります。

■中長期的な継続成長に向けて

ビジネス環境の厳しさは続きますが、生活スタイルの変化によりデジタルトランスフォーメーションやIoTが急速に進んでいます。次世代ではすべてのモノがつながる時代になり、つなぐビジネスであるコネクタ業界には大きなポテンシャルがあると考えています。皆様のお手元のスマートフォンから社会を支えるインフラまで、コネクタが活躍できる市場は大きく広がっています。新しいテクノロジーは日々世界中で生まれ続けており、次世代を牽引するような技術を見極める力を磨くことが重要と思います。将来有望な市場の変化点を見逃さないようにするためにも感知力と反応力を上げて、新しい事業機会の創出にスピード感を持って対応していきます。

さらに、継続成長に向けて、バランスの良いビジネス構造で変化対応に強い企業体質の確立を目指しています。ヒロセ電機は、身近なコンシューマ機器向けから自動車向けや産業インフラ機器向けまで、幅広い品揃えのコネクタを用意して、お客様からの様々なニーズにお応えできるように取り組んでおります。また、分野横断的な活動により、先行・先端製品、差別化製品の提案力を高める努力をしてまいります。

サステナブルな企業成長を目指す上で、ESG対応の強化やSDGsの取り組みも進めています。接続部品であるコネクタは、電子機器のメンテナンス性や拡張性の役割を担っており、省資源・低炭素社会に貢献しています。ヒロセ電機のコネクタが、今後のサステナブル社会により役立つことができるよう努力を続けたいと思っています。

■株主の皆様へ

新たな株主還元方針に関して、5月に発表させていただきました。中期成長戦略に伴う収益性の改善、さらに事業拡大のための投資と株主還元策の拡大により、自己資本を圧縮し、2024年度までにROE8%の達成を目指します。株主還元方針は、(1) 2021～2024年度配当性向50%を基本方針として実施 (2) 2021～2024年度までの間、400億円を上限とし自己株式の取得を実施としています。

また、監査等委員会設置会社へ移行いたします。移行の目的としましては、委員の過半数が社外取締役で構成される監査等委員会を設置し、監査等委員である取締役に取締役会における議決権を付与することで、取締役会の監督機能を強化し、さらに業務執行の適法性、妥当性の監査・監督機能を強化することで、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ってまいります。

終息がまだ見えていない新型コロナウイルス感染症による影響で、皆様にも不自由を堪える日々が続いているかと思います。まずは健康を第一にご留意いただけますようお願い申しあげます。感染症により影響を受けられた方々に心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早いご回復をお祈り申しあげます。

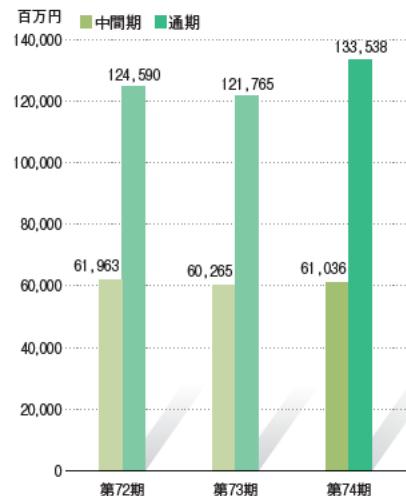
代表取締役社長 石井 和徳



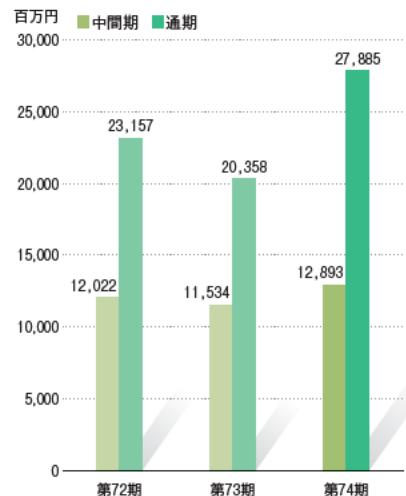
(撮影：ヒロセ電機 写真部)

決算ハイライト

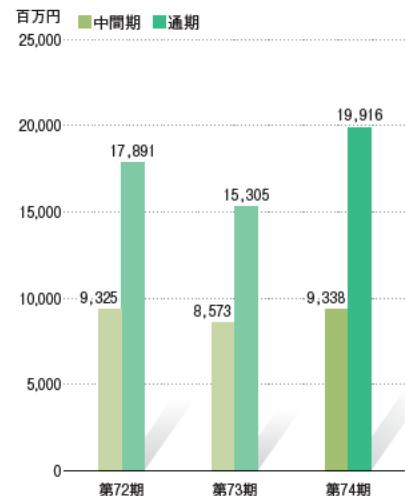
売上収益



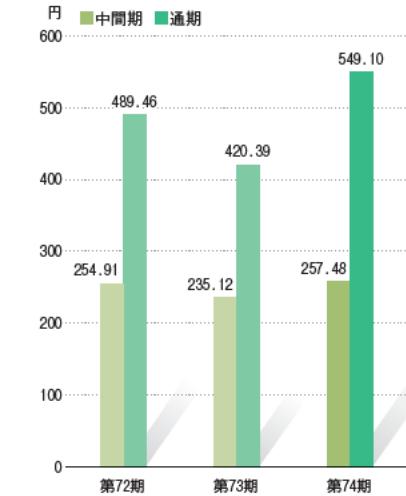
営業利益



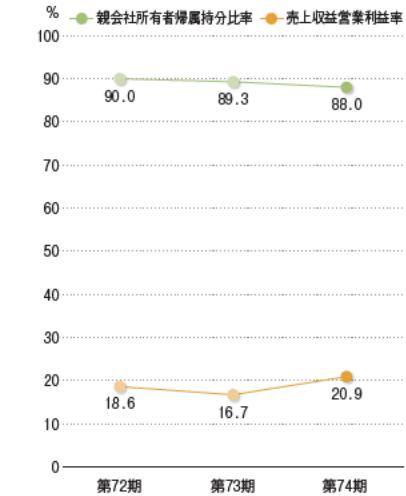
親会社の所有者に帰属する当期利益



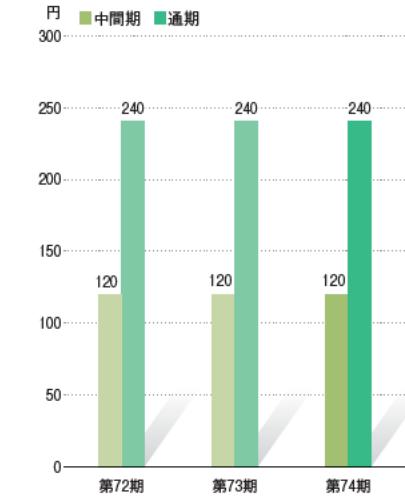
基本的 1 株当たり当期利益



親会社所有者帰属持分比率、売上収益営業利益率

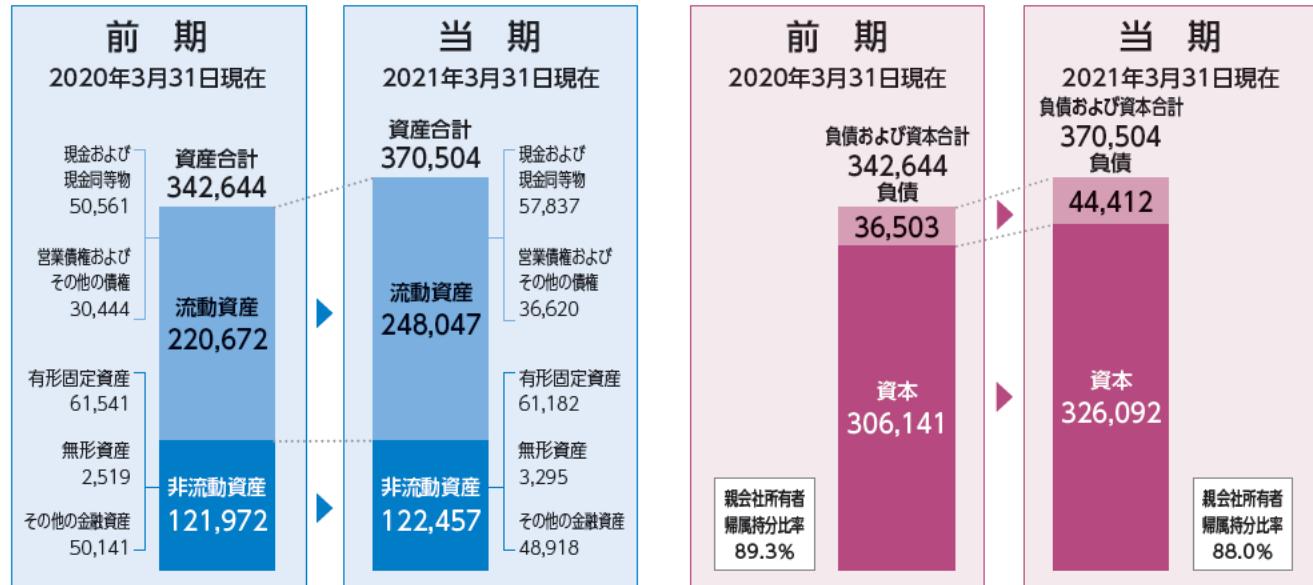


1 株当たり配当金



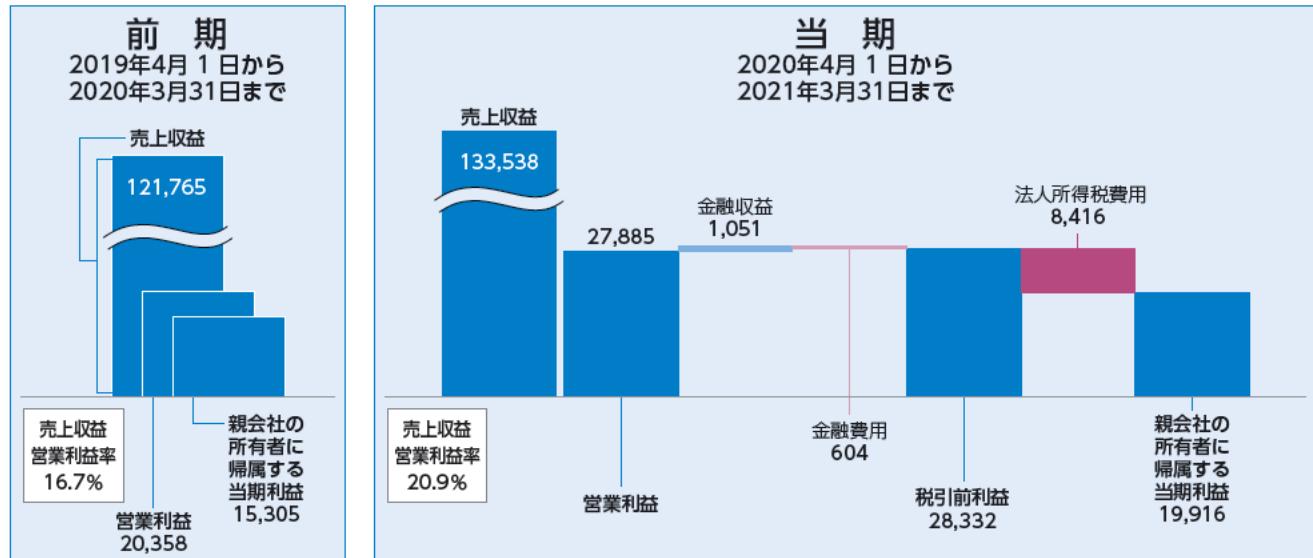
連結財政状態計算書の概要

(単位：百万円)

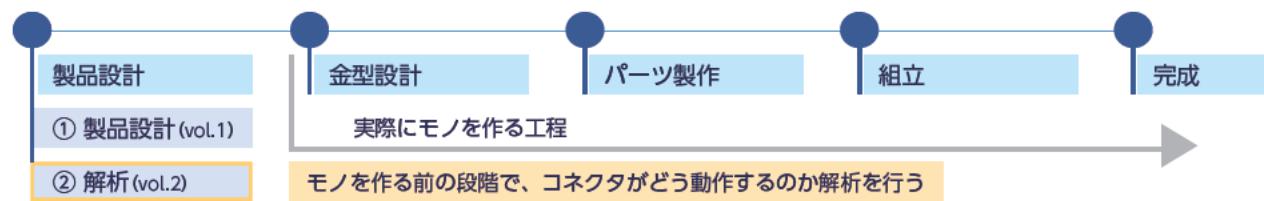


連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



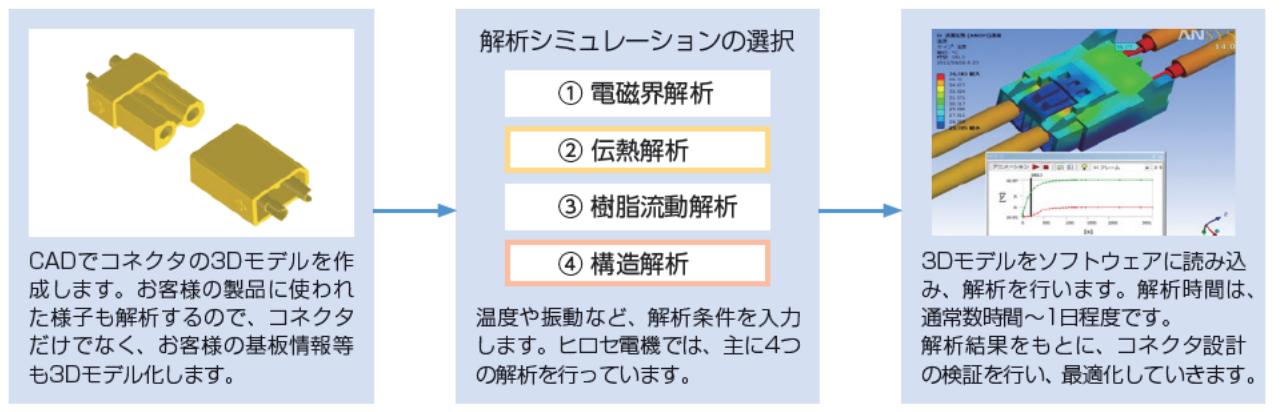
■ コネクタができるまで



■ 解析とは？

コネクタの役割は、電子機器が暑さ・寒さ、振動などどんな環境にあっても、信号や電気を正しくつなぐことです。解析では、モノを実際に作る前に、お客様の機器がどんな環境で使われるかを想定し、コネクタの特性をバーチャルで試験し、設計検証・不具合の原因を分析します。テレビなどで、製品を落としたときの耐久試験を見たことがある方もいるかもしれません。解析はコネクタの3Dモデルを作成し、このような様々な試験をソフトウェア上で行います。モノを作る前に解析を行うことで、リスクを減らし、コスト・製品開発リードタイムの削減にもつながる、設計において重要な工程です。

■ 解析の手順



ソフトウェアが解析するといっても…。

コネクタは製品によって、金属の種類やバネ性が異なります。例えばバネ性のある金属がコネクタに使われている場合、使用条件によっては変形したり破断することがあります。ヒロセ電機のコネクタ設計に適したデータを測定し、ソフトウェアで条件として設定をしないと、実際のコネクタでの測定時と結果が異なることもあります。より正確な解析結果を出すためにも、パラメータの測定や入力など、解析を始める前には多くのステップが必要になります。

■ こんなことを解析しています！

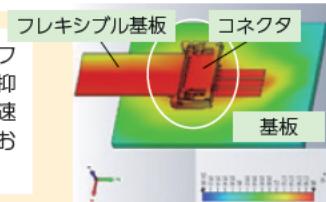
伝熱解析

お客様から

小型、かつ急速充電にも対応できるコネクタが欲しい！

コネクタ周辺の温度上昇も解析するため、コネクタと接する基板も3Dモデル化します。ソフトウェアで電流の大きさを変え、温度変化をチェックします。お客様の要求内の温度上昇に抑えるため、解析を繰り返し、ベストな電流の大きさ、端子の数などを提案します。最近は急速充電のニーズが高まっています。小さいコネクタと熱の関係は続きますが、高い解析技術でお客様の困りごとを解決します。

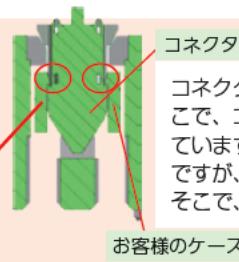
コネクタには電気の通り道として**金属端子**が使われています。充電などで電流が端子を通ると、端子は金属なので発熱します。小型コネクタの端子は、小さいもので幅0.2mmと、とても小さく細い金属です。金属は小さいほど熱を持ちやすく、また急速充電時には大きい電流が流れます。つまり、コネクタの温度が上がりやすくなります。コネクタが発熱すると周辺の電子部品の発火につながることがあるので、温度上昇の様子を解析します。



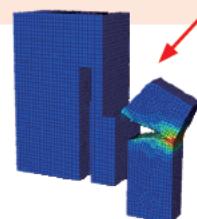
構造解析

お客様から

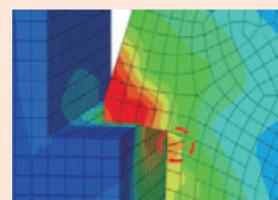
コネクタのロックを強化しつつ、抜き差しのしやすさも欲しい！



コネクタが外れてしまうと信号や電流が通らず、不具合の原因となります。そこで、コネクタにツメと呼ばれる出っ張りをつけ、抜けにくくする工夫がされています。不具合の発生リスクを減らすため、このロックは強いほうが良いのですが、強すぎると修理などでコネクタを抜く際に破損する恐れがあります。そこで、どれぐらいの力が加わるとどんな割れ方をするのかを解析します。



解析時間を短縮するため、力の加わり方を知りたいツメの部分だけをモデル化し、解析を行います。まずは、どれぐらいの力を与えるとコネクタが破損するのかを調べます。さらに、どの部分に力がかかるか、どこから亀裂が入るかを解析します。原因が分かれれば、コネクタ・お客様のケース、それぞれ色々な形を試しながら、亀裂が入りづらい形状を探し、ベストな形を決めていきます。



■ ヒロセ電機の解析課のこれから

今後は、コネクタだけでなく、コネクタが使われるお客様の機器を含めた幅広い解析を行い、解析精度を上げることで、お客様からヒロセ電機の解析に対する信頼を勝ち取っていかなければなりません。そのためには、外部の研究情報や実際の測定結果との検証実績を蓄積していくことが必要です。データを集めることで、コネクタに起こる様々な現象を予測することができ、コネクタの接触信頼性や防水特性など、ヒロセ電機のコネクタならではの差異化ポイントをご提案することができます。解析は、ノイズのようなこれまで目に見えなかった不具合を“見える化”するとしても重要な工程です。今後、より高い品質のコネクタを、より短い時間で作るためにも、解析課は大きく貢献していきます。

多極コネクタ

売上収益 **119,752**百万円 (前年同期比 10.9%増)



当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタなど多品種にわたります。

主としてスマートフォン、通信機器、カーエレクトロニクスなどの分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当期の連結売上収益は1,197億52百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は262億95百万円（同35.5%増）となりました。

89.7%



同軸コネクタ

売上収益 **9,492**百万円 (前年同期比 3.0%減)



同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にスマートフォンやパソコンなどの無線LANやBluetooth通信のアンテナ接続や自動車でのGPSアンテナ接続として、また無線通信装置や電子計測器の高周波信号接続として使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当期の連結売上収益は94億92百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は14億12百万円（同68.7%増）となりました。

7.1%



その他の製品

売上収益 **4,294**百万円 (前年同期比 8.3%増)



以上のコネクタ製品以外の製品として、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

当期の売上収益は42億94百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は1億78百万円（同54.5%増）となりました。

3.2%



製品紹介

ZH05シリーズ

ZH05シリーズは、125°C耐熱、高耐振性という車載品質に加え、業界初のショート・感電防止構造を採用した基板対ケーブルコネクタです。カーボンニュートラル社会の実現を旗印に電動車や蓄電池のニーズが急拡大していますが、そのキーデバイスの一つがバッテリーパックです。バッテリーパックは、製造時に電気を蓄えた状態で組立が行われるため、接続作業の安全性・信頼性が課題となっています。ZH05シリーズは、独自の構造により隣接端子間のショートによる故障や発火事故、作業者の手が端子に触れることによる感電事故を防ぐことができます。バッテリーパックというキーデバイスの製造における課題解決を通して、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。



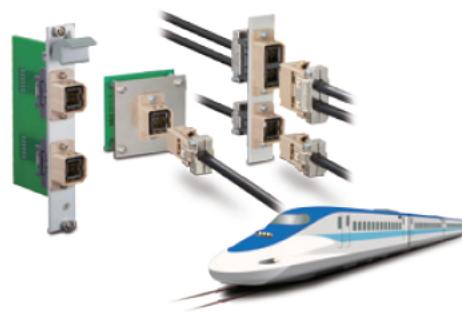
FH58シリーズ

IoT機器、ウェアラブル機器は進化を続け、端末で使用される各種モジュールや半導体の情報処理量の増加が進んでおります。このような端末の内部設計において、多極FPCコネクタのニーズがますます高まり、多機能化、省スペース化のニーズが高まっております。本製品は、端子が千鳥配列構造の0.2mmピッチ（実装ピッチ0.4mm）および狭奥行きで省スペースを追求し、従来のバックフリップタイプの開発実績をもとに“優れた作業性”と“高い信頼性”を実現しております。また、高密度箇所への実装を考慮し、FPC挿入・可動片開閉治具も同時にご提案可能です。現在、さらに多極化の検討を行っており、省スペース対応の標準コネクタとしてウェアラブル機器の多機能化・小型化に貢献します。



TJ*Lシリーズ

本シリーズは、鉄道向けイーサネット通信ネットワーク対応インターフェースコネクタとして開発いたしました。東海道旅客鉄道株式会社様が2020年7月に営業運転を開始されました、新型新幹線N700Sにご採用いただいております。従来鉄道に使用されるコネクタは金属製で、ネジ締めによってロックされるタイプが主流でしたが、操作性が悪くネジ締めの管理が必要でした。本シリーズは、ワンタッチロックで操作性を向上するとともに、ネジ締めタイプで心配されるネジの緩みの管理が必要なく、また樹脂製コネクタであるため搭載機器の軽量化にも貢献しております。ヒロセ電機のコネクタは、N700S以外にも、新幹線・在来線で多く使用され、人々の生活を支える鉄道分野でも貢献しています。



グループネットワーク

◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



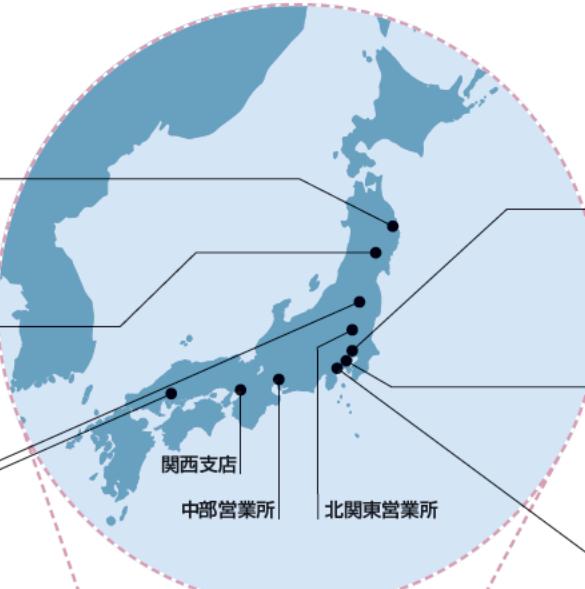
一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



西日本営業所



五反田事務所



菊名事業所



本社



◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



ヒロセエレクトリックインド



ヒロセエレクトリックマレーシア



広瀬電機(東莞)有限公司



ヒロセエレクトリックシンガポール



ヒロセエレクトリックインドネシア



広瀬(中国)企業管理有限公司



ヒロセコリア



台廣電子股份有限公司



広瀬香港有限公司
広瀬電機香港貿易有限公司

会社の概況

会社概要 (2021年3月31日現在)

商 号 ヒロセ電機株式会社
設 立 1948年6月15日
従 業 員 連結4,859名（パートタイマーを除く）
資 本 金 9,404,379,401円

取締役 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	石井和徳
専務取締役	中村充男
取締役	桐谷幸雄
取締役	佐藤博志
取締役	鎌形伸伸
取締役	稻坂純
取締役	李相輝
社外取締役	堀田健介
社外取締役	元永徹司
社外取締役	西松正記
取締役（常勤監査等委員）	千葉良一
社外取締役（監査等委員）	杉島光一
社外取締役（監査等委員）	三浦健太郎

(注) 社外取締役 堀田健介氏、元永徹司氏、西松正記氏、杉島光一氏、三浦健太郎氏の5氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反を生じるおそれのない独立役員であります。

会計監査人

有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行済株式総数 36,284,695株
(自己株式1,891,247株を除く)
株主数 3,573名

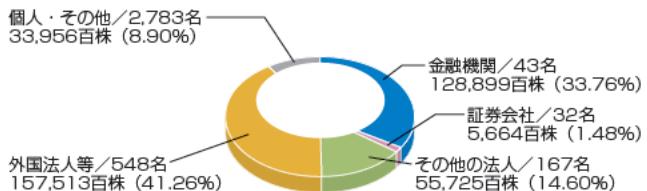
大株主 (上位10名)

株主名	持株数
公益財団法人ヒロセ財団	31,476
ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー	29,513
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,601
ジェーピーモルガンチースバンク	38,005
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	19,936
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	16,320
有限公司会工イチエス企画	12,215
みずほ信託銀行株式会社(信託口)	8,707
みずほ信託銀行株式会社(信託口)	8,652
全国共済農業協同組合連合会	8,146

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式18,912百株を保有しております。

株式分布

株式の所有者別状況



■ 株主メモ

事 業 年 度 每年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 每年6月開催

基 準 日 定時株主総会 每年3月31日

期 末 配 当 金 每年3月31日

中 間 配 当 金 每年9月30日

(そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

〔株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〕

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単 元 株 式 数 100株

公 告 方 法 当社のホームページに掲載します。

<https://www.hirose.com/corporate/ja/ir>

ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

インターネット <https://www.smtb.jp/personal/agency/>
ホームページURL index.html

〔特別口座について〕

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についての住所変更等のお届出およびご照会は、上記の電話照会先にお願いいたします。

ヒロセホームページの注目コンテンツ！

① Hirose Virtual
Discovery EXPO 2021
(期間限定公開中)



② EF2シリーズ導入事例
「EF2シリーズが
“省力化”に貢献」



③ コネクタQ&A
おしえて！エイチくん



④ 個人投資家の皆様へ



QRコードを読み込むと、該当のホームページにアクセスすることができます！